

引揚者を迎えるに際して

全國民待望のソ聯地區在外同胞を愈々六月二十七日當舞鶴港へ入港する第一船高砂丸を初めとして
次々に迎へる事が出来る様になりましたことは實に本市としても十萬市民にとつても限りなき喜
でありま

でありま

敗戦後嚴寒

想を胸に祖

迎えま

待たされ

市に致しま

然

塔だけ

には市

過す

耕作を

ること

殊に引揚

る様では

御協力を御願ひ致します

大の援助をして頂きました市民各位に感謝の意を表しますと共に本年最後の引揚歓迎について更に

昭和二十四年六月二十三日

舞鶴引揚記念館 ユネスコ世界記憶遺産 登録5周年特別企画展

令和2年 11月17日(火)～11月29日(日)

※24日(火)は休館日

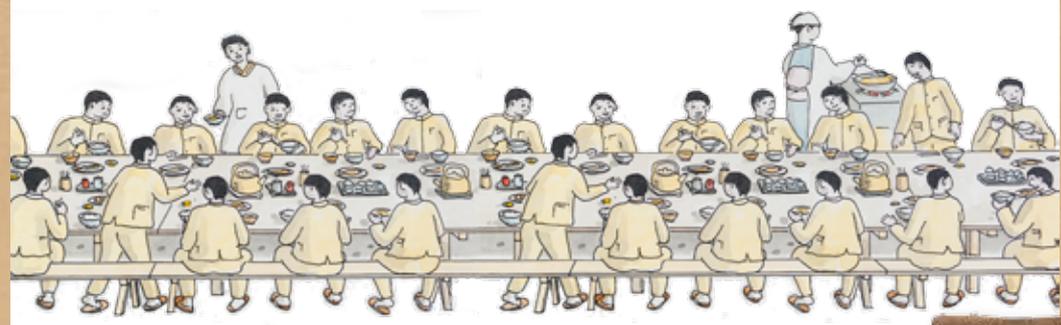
9:30～17:30 (入館は17:00まで)

会場 = 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



主催：平和祈念展示資料館、舞鶴引揚記念館

入館
無料



白樺日誌

シベリア抑留中に紙の代わりに白樺の皮を使い、空き缶で作ったペンと煤を水に溶かしたインクで抑留生活の想いを和歌にしたためのもの。

スケッチブック

抑留中にソ連側から渡されたスケッチブックと絵具を使い、描いたもの。奇跡的に日本に持ち帰ることができた。



手作りのメモ帳

抑留中にセメントの袋を切って作ったメモ帳。収容所での所持品検査で見つからないようにとても小さく作られている。

平和祈念展示資料館(総務省委託)

新宿住友ビル33階 東京都新宿区西新宿 2-6-1 Tel.03-5323-8709

<https://www.heiwakinen.go.jp>



@heiwakinen

舞鶴引揚記念館

ユネスコ世界記憶遺産

登録5周年特別企画展

戦後強制抑留者（シベリア抑留者）の労苦を伝えるため、舞鶴引揚記念館（京都府・舞鶴市）所蔵のユネスコ世界記憶遺産登録資料を平和祈念展示資料館で展示します。



今から約75年前、第二次世界大戦が終結しました。日本国内ではGHQによる占領統治が始まる一方で、旧満州（現・中国東北部）などにいた軍人・軍属を中心とする約57万5千人もの人々が、ソ連の各地へ強制的に連行され、重労働を強いられました。

極寒の中での重労働に加え、乏しい食料事情と劣悪な衛生環境の中で約5万5千人の人びとが犠牲となりました。

残された資料からは、つらく苦しい抑留生活だけではなく、人間らしく生きようとする姿も垣間みることができます。

今回の特別企画展では、2015年にユネスコ世界記憶遺産（世界の記憶）に登録された570点の資料のうち、代表的なものをご紹介します。

生還の希望を失わなかった人々と、帰りを待ちわびた人々と温かく迎えた舞鶴市民の記録をご覧ください。



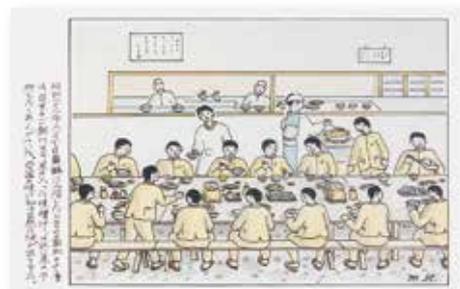
舞鶴引揚記念館
MAIZURU REPATRIATION MEMORIAL MUSEUM

昭和20(1945)年10月7日、引揚第一船「雲仙丸」が入港してから、13年間にわたり66万人の引揚者を温かく迎えたまち舞鶴。戦後の第一歩をしるした新たな出発点として「戦後復興のふるさと」ともいえる地となりました。舞鶴引揚記念館は、引揚げやシベリア抑留を後世に継承し、平和の尊さを広く発信する施設として、全国の体験者や関係者、舞鶴市民の皆様のご支援ご協力により昭和63(1988)年4月に開館しました。

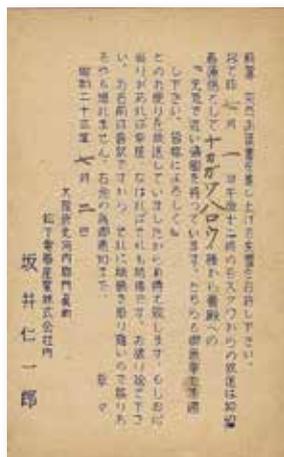
京都府舞鶴市字平1584 引揚記念公園内
Tel.0773-68-0836
<https://m-hikiage-museum.jp>



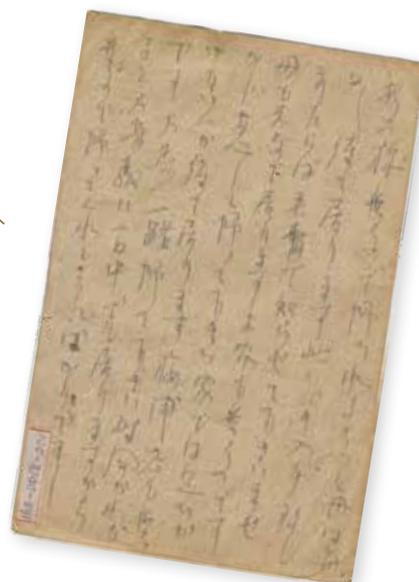
帰国直後に描かれた記録画
— わが青春の浪漫抄
抑留中の過酷な労働だけでなく、現地の人との交流の様子なども描かれている。



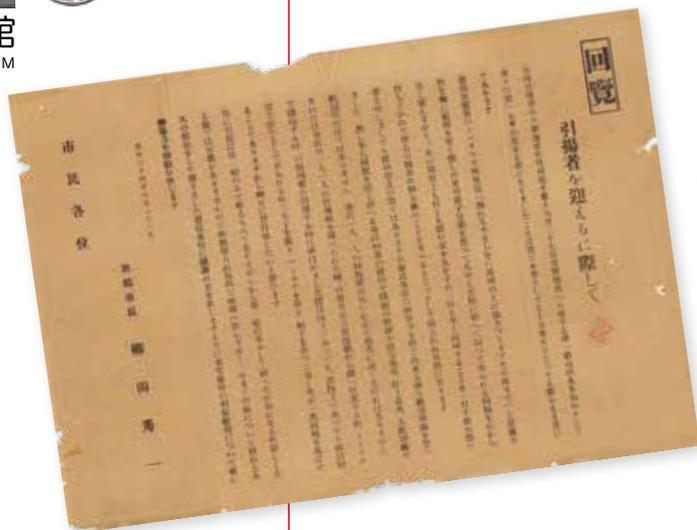
抑留から帰国まで時系列に描かれた記録画
— 舞鶴での食事
それぞれの絵画には説明が書き添えられており、各場面を詳細に知ることができる。



シベリア抑留者の安否を伝えた葉書
坂井仁一郎氏が偶然ソ連側のシベリア抑留者の安否情報を伝えるラジオ放送を聞き、全国にいる抑留者家族へ葉書を送り、安否を伝え続けた。



息子・新二氏へあてた葉書
岸壁の母のモデルである端野いせ氏が戦地から帰らぬ息子・新二氏の無事の帰還を信じ、引揚援護局に託した葉書。



市長回覧
昭和24(1949)年6月に当時の舞鶴市長が市民へ向け、引揚者を迎えるにあたって、これまでと変わらぬ気持ちでお迎えをするようお願いした回覧文。



平和祈念展示資料館（総務省委託）

新宿住友ビル33階
東京都新宿区西新宿2-6-1 Tel.03-5323-8709

- 都営大江戸線（都庁前）駅より 徒歩約1分
- 東京メトロ丸ノ内線（西新宿）駅より 徒歩約5分
- JR線、小田急線、京王線（新宿）駅西口より 徒歩約10分

<https://www.heiwakinen.go.jp> 入館無料

映像コンテンツ配信

平和祈念展示資料館と舞鶴引揚記念館が共同で制作した映像コンテンツをインターネットで配信します。詳しくはホームページをご覧ください。